



クリーンセンター建設に向けて

～クリーンセンターは、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

新たなクリーンセンターの建設は、木津川市にとって、一日も早く解決しなければならない、たいへん重要な緊急の懸案事項です。今月号では、敷地造成工事の進捗状況とごみの排出状況について、お伝えします。

【クリーンセンター敷地造成工事の進捗状況】

クリーンセンターの敷地造成工事につきましては、敷地の一部に埋設されていた廃棄物の撤去および下流河川に影響のない範囲の伐木が完了しました。

来年3月末の完成を目指し、この6月からは、切土、盛土、残土処分など、敷地造成工事がいよいよ本格化します。

資材の搬入や残土処分のため、ダンプ等の通行も多くなり、ご迷惑をお掛けしますが、交通マナーに心がけ、事故のないように気をつけて進めます。

地元の皆さんをはじめ市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。



廃棄物の撤去後の状況



伐木の状況

【ごみの排出状況について】

木津川市の燃やすごみは、打越台環境センター（精華町内）で焼却しており、昭和55年に稼働して以来、約34年が経過しています。老朽化による施設の損傷が相当に進んでおり、いつ停止するかわからない状況であることから、新たなクリーンセンター建設に向けた取組みを平成28年度中の施設稼働を目指して進めています。

一方、過去5年間のごみの排出量につきましては、家庭から排出された1人あたりの1日の燃やすごみの排出量は、約446gで、ほぼ横ばいで、ごみの減量化がほとんど進んでいない状況です。

燃やすごみの組成を調べると、家庭から排出される燃やすごみの中には、水分の多い生ごみや資源化可能な古紙類が多く含まれており、約30%のごみ減量が可能です。生ごみは、ごみを出す前に水切りをすることで、資源化可能な古紙類は、集団回収※をすることで、ごみの減量化にたいへん効果があります。

クリーンセンター建設の準備を進める一方で、ごみの焼却による環境負荷を減らすためには、市民の皆さんと行政が協働して、ごみに対する関心を高め、ごみの減量に向けた実践活動に取り組むことがたいへん大切です。

※古紙類の集団回収に対して、市では、補助金を交付しています。詳しくは、まち美化推進課（☎75-1215）まで問い合わせください。

クリーンセンター整備にあたり、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をお願いします

クリーンセンター建設推進室 ☎75-1226 Fax72-3900 E-mail : clean-center@city.kizugawa.lg.jp